

江北町

No.151

令和元年  
6月定例会

令和元(2019)年8月1日発行

# 議会だより



## 町内各種団体による 交通安全立哨活動

### CONTENTS

- 一般質問
- 各常任委員会
- 一般会計及び特別会計  
補正予算審議
- 条例改正
- 編集後記

# 江北小学校のスポーツ設備の整備について



石津圭太 議員

町長 必要最小限の修繕であれば対応できる

**議員** 江北小学校の運動場にある野球用のバックネットだが、穴があいているため、野球ボールが道路に出ていき、ボールを拾いに行く子ども、また、通行する車にも大変危険だと思われる。事故につながる危険性もあり、指導者や保護者の方より整備を望む声が多数上がっている。危険性を訴える声を把握されているか。

**こども教育課長** 小学校の南東の方にある少年野球が使っているバックネットの件だが、昨年5月の初めに関係者の方から、防球ネットの補修について補助金がないかとの相談があった。補助制度がなかったことから、補助金はないと回答をした。その折、ネットの状況を確認したが、しばらく様子を見ることにしていた。今年、改



小学校のバックネットの穴

めて確認したところ、破れが生じており補修が必要だと考えている。

**議員** 一度、野球部の部費でネットの取替えを行ったが、町のソフトボール大会等でも使用しているのに部費を使うのはおかしいのでは。

**こども教育課長** 体育協会が主にソフトボール大会等で使われているので改修をしていく

ように考えている。

**議員** 改修はいつ頃の予定か。

**町長** 必要最小限の修繕であれば既存の予算で対応ができると思う。早急に修繕できるよう教育委員会には申し入をする。

**ネイブルの設備の補修改善について**

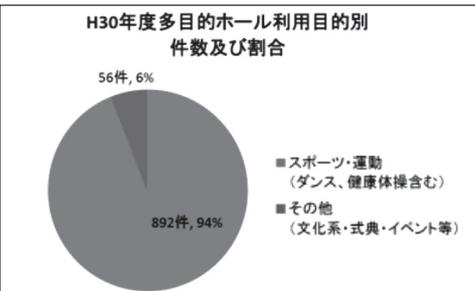
**こども教育課長** 指定管理者と協議して対応する

**議員** ネイブルの多目的ホールには、コート間にネットがなく、隣同士競技中のボールが飛び交い、転倒した利用者もいる。現状1メートルのネットに対応している状態で、またコートの上にもわかりにくいので、バスケットボール競技で選手同士が接触する事例も発生している。補修、改善は可能か。

**こども教育課長** 競技に影響があるスポーツもあり、文化イベントと両方に対応するため設置されていない。利用者の指導や新たな対策に現状の確認を行い、指定管理者と協議して対応する。

**議員** ラインについてはコートの研磨を行う時に同時にできないか。

**こども教育課長** ネイブルも個別施設計画を作成している。いつ頃



改修をするかどうかだしっていく。

**議員** 多目的ホールではあるが、平成30年度の利用目的別件数は、グラフのとおり、948件中、スポーツ、運動が892件、その他が56件と、94%の割合でスポーツ、運動が占めている。町は、「スポーツの町」を宣言しているのに、早急な対応を願う。

**こども教育課長** 築年数が15年以上たつので、早い時期に盛り込める様に計画していきたい。

江頭義彦  
えがしらよしひこ



議員

# 適応指導教室の開設について

**町長** 子どもは、江北町の次の時代を担う主役  
学習の機会が奪われることがあってはならない

**議員** 小学校や中学校では、新事業として東京の小学校との交流やオーストラリアとの海外交流事業が始まっている。また、特別支援教育の充実として学校教育支援員やスクーールカウンセラー・スワールソーシャルワーカーの配置を充実させ「困り感」を持った児童・生徒への対応について取り組まれていると承知している。

**① 現在、「困り感」を抱えた児童・生徒が現在の程度いて、その現実をどのように受け止めているか。**

**② 教室に入れない子どもの状況と支援について。**

**③ 子どもの学力保障と社会的自立、どの子ども江北町の貴重な人材としての認識は。**

**こども教育課長** 平成30年度は小学校が2名、中学校が13名。



佐賀県内の適応指導教室

年々増加傾向にあり、教育委員会としても最重要課題として捉えている。

別室での授業ということで、中学校にはビッキールームがあり、個々に合った学習内容を指導している。

**教育長** ビッキールームに学校教育支援員を配置しているのは1名で、あと残りの2名は教室内を回っていたりしている。ビッキールームでは、生徒と学校教育支援員が一日の計画とどの程度教室に入るかを担任のアドバイスを

を受けながら計画を立てている。毎日、記録をお願いしており担任も保護者も目を通せる状況にある。

**議員** すでに県内16市町で20か所開設されている「適応指導教室」開設の予定について町の考えを聞きたい。

**教育長** 週に1日〜3日登校できており、今年度は別室指導に重点をおいて取り組みたい。

**町長** 学校復帰が前提となる適応指導教室ということだけでなく、どの子にも必要な学習の機会をきちんと提供するという観点で考えていく必要がある。

**江北町育英資金の状況〜魅力ある育英資金に〜**

**こども教育課長** 現在2名の方に貸付を行っている

**議員** 子どもたちは、我が国の未来であり、江北町にとっても財産であり、活力である。その子どもたちが経済的な理由によって学びを諦めることがあってはならない。学びたいという本人の意欲があれば、町としてもしっかり応援してほしい。

**① 育英資金の最近の申請状況について。**

**② 選考基準について。**

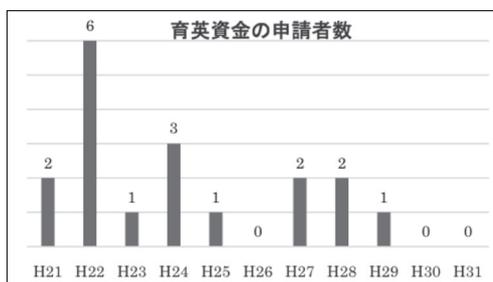
**こども教育課長** 過去10年間で申請者が18名で認定者が12名。現在、2名の方に貸付を行っている。選考基準については、まず、江北町内に居住する者の子弟であること、向学心に富み学力がすぐれていること、最後に、学費の支弁が困難であることとされている。

**議員** 広く周知して頂き、より多くの子どもたちが利用できる育英

資金になればと期待する。

また、この制度が町の核となる若者を育成・応援する目的で、町民に浸透することを願う。

さらに「育英学生の集い」等を通して、意見交換や将来を語る場となり、人材育成につながっていかないと考える。



# 町内に点在する空き家等、危険家屋の対応について



井上敏文 議員

**町長** 町条例を改正し、法的根拠をもって対応したい

**議員** 全国的にみても、空き家の問題は深刻な問題と捉えられている。本町も空き家対策として、平成24年に「空き家等適正管理に関する条例」を定めている。町内には、台風等でいつ倒壊してもおかしくない建物が多量に点在しており、周囲の人たちは不安を抱えている。現在、町で管理不全の危険な空き家は何件と把握しているか。また、危険な空き家の解体が進まない理由は何か。

**建設課長** 管理不全な状態にある空き家は22件。その所有者のうち町内在住が7件、県外在住が15件。解体が進まない要因としては、遠方において管理する意識が低いこと、また、相続の問題もある。**議員** 所有者が解体についての認識が低いと言われるが、このまま放置していいのかわ。まず行政が危険であることを認識することが必要である。以前、この放置されている空き家についての質問があり、「管理不全と認められた時は、条例に従い助言、指導、勧告、命令の続きを取っていきたい」と答弁されているが。

**建設課長** これまで指導、助言を行い解体した物件もある。解体が進まない空き家について勧告はしているが、命令までは至っていない。**議員** 町条例に、命令に従わないときは行政執行ができる。町民の不安を解消するためにも強い姿勢で臨むべきではないか。**町長** 行政代執行については手続き等、その自治体では行政代執行ではなく条例を定



台風等により破損、倒壊が心配される空き家

め、緊急安全措置条文により、道路際の空き家を役所の方で解体された事例がある。9月議会でもこのようなことを参考にして町条例を改正し、法的根拠を持たせて対応していきたい。この他、建物、土地全てを町に寄付したという人もいる。この場合、所有者、役所、地元区の3者で管理協定ができないものかと考える。これら2点について、具体的な検討、対策を早めに行い制度設計を図りたい。

## 下水道事業を民営化できないか

**町長** 包括的民間委託も含め、研究していく

**議員** 町の下水道事業は、来年4月から佐賀西部広域水道企業団が新たな経営主体として水道事業全般を運営していく。一方、江北町下水道事業経営戦略によると、下水道管理は将来的に包括的民間委託を検討するとある。この包括的民間委託とは。**環境課長** 現在の下水道管理は、業務ごとに単年度契約をしているが、包括的民間委託は、それを括して複数年契約をするもの。**議員** 水道と同様、下水道事業についても民営化の議論をするときがくると思う。この民営化について、所有権を町に残したまま事業運営すべてを民間に委ねるという手法もあるがこれについての見解を。**町長** 包括的民間委託も含め今回の質問を契機にしっかりと研究する。

# 江北町における総合的な降雨等の排水管理について

**総務課長** 今年度中に聞き取り調査を行い、問題点があれば対策を協議する



三吉紀美子 議員

**議員** 質問にはいる前に、3月議会に於て早急な安全対策を問題提起した、学校前の道路を早速取り組んでいただいた。感謝する。

長年の懸案であった正徳区冠水対策について隣接する関係区で協議を重ね、平成30年5月25日方針が出され、この年7月6日の豪雨は隣接区との連携により以前のような被害は確認されなかった。平成29年9月決算の中で他の排水機場でも上流から下流まで協議会が出来ないかとの問いに、用水、排水、防災の観点から総合的に水管理をしていく必要性を感じていると回答されたがどのような検討をされたか。

**総務課長** 平成30年度6排水機場の水の流れについて調査した。今年度中に聞き取り調査を行い、問題点



があれば対策を協議する。

**議員** 昨年の豪雨での良い結果は関係区協議の成果であるが、早急な対応を望む。

**総務課長** 冠水する箇所は関係区と協議の必要があると考えている。

**豪雨に対する対応について**

**総務課長** 災害用トイシを購入する計画です

**議員** 予算要求で災害用備品購入は、高齢者等援護者の人達が避難を安心して出来るような受け入れ態勢に資するようにしたいと回答されたが実態は。

**総務課長** 避難行動要支援者の避難について老人福祉センター1階又保健センターを検討。

**議員** 女性として絶対必要の面から災害用トイシ購入を願うが。

**総務課長** 段ボールベツト、段ボールの間仕切り、災害用トイシを購入する計画である。

**議員** 早急な手配をして貰って有り難く思う。日赤奉仕団として食物アレルギーの保存食対応を訴えたい。

災害時のみでなく、学校給食にどうか。

**総務課長** アレルギイ対策の備蓄品は保存している。今後他の部分についても対応したい。

**わが町の産業振興について**

**町長** 安全、安心で新鮮な農産物の普及が必要と思う

**議員** 4月12日の江北のこれから語る公開討論会の席上、産業振興の項で韓国での学校給食による食材の地産地消、宮崎県綾町が取り組まれている安心安全な農作物生産を例に挙げて、農業振興での地域活性化を図れないかと訴えた。

わが町の産業振興は、第1次産業である農業を外しては考えられない。振興を図るには、子ども達の食の安全安心を考慮した地産地消の農作物を生産し学校給食に使っていただきたく強く望んでの質問だが、学校給食の年間食材と自給率は。

**こども教育課長** 米は12,470kg、キュウリは1,870kgで共に100%町内産。

**議員** 第5次総合計画で環境への負荷低減、安心で安全な付加価値の高い農作物の生

産、供給を進める重要性が述べられている。行政がJA、商工会を含め協議し、質の高い安心安全な農作物生産で、だいちの家を道の駅として給食、町外への販路を広げる考えは。

町長が目指す新田園都市の実現、グリーン・ツーリズムに夢をかける。

**町長** 観光に農業を使うのはいいがかな。安全、安心で新鮮な農産物の普及は必要と思っている。

**議員** 休耕田での体験、農産物を買って貰う等今のところ宿泊等はないが、建設の話はあるのでは。

**町長** 豊かな宝の農産物を介した交流は是非やっていきたい。

他に、江口区内の流れ込みのない水路の取扱いについて質問

# 学校教育施設の現状と課題



池田和幸 議員

**町長** 学校施設のあり方は、シミュレーションも含めて報告できるようにする  
トイレ調査は早急にしたい

**議員** 学校教育施設の状況では、小学校は昭和54年建築で、平成20年度に校舎、体育館の耐震補強工事を行っている。中学校は昭和60年建築で、耐震性に問題はない。小・中学校とも耐用年数50年を超過していないが、建築から30年以上経過し、設備の老朽化が見られると報告されている。小学校の状況で、平成29年度～30年度ではどのような施設の改修整備が行われたのか。

**こども教育課長** 平成29年度は、インターホン設置、トイレのトラップ補修と汚水管詰まり補修工事他12件、平成30年度は教室棟落下防止手すり設置工事、高圧受電設備改修工事他9件の修繕を行っている。

**議員** 6月1日に実施された「フリー参観



デー」に参加した折、北側校舎の2・3階校舎東側のトイレは、異臭があり改善されていない状況であったと感じたが。

**こども教育課長** 異臭は完全に解消されていないので、今後も対応をしていく。

**議員** 洋便器の今後の設置改修計画は。

**こども教育課長** 個別施設計画を立てているので、改修率も盛りこんでいく。

**議員** 当初予算で、学校教育施設劣化診断が予算化され、本体工事が令和4年～5年と予定されているが、大規模改修か新築かはいくつ検討されるのか。

**教育長** 劣化診断をして大規模改修等をすれば、令和元年～3年に計画をして、4年～5年の工事になる。

**議員** 大規模改修をするのか長寿命化改修を入れるのかによりトイレ等の改修に影響が及ぶのでは。

**町長** 今する

必要があればしていく。学校施設のあり方は、シミュレーションも含めて報告できるようにしたいので今しばらく時間を頂きたい。

**議員** トイレについて

**教育長** トイレ調査を早急にする。

## 上小田地区の活性化は

**町長** 利活用とか振興策を微妙かつ繊細な対応で、県に提案をしている

**議員** 門前～観音下線の道路拡張による効果と計画性についての質問だが、まずバイパス整備に関する要望書提出後の状況は。

**町長** 県道事業として、どのように町を発展させていくための提案が必要であり、工場適地調査も行い、町として利活用とか振興策を微妙かつ繊細な対応

をしている。

**議員** 県道としての機能を生かすため、または企業誘致や道路拡張を機能する方策として、農振除外等の考えは。

**産業課長** 町の総合整備計画や農業者の意向調査等を行い、基本方針との調整、素案作成や県との協議及び公告縦覧の手続きを行うため、ある程度の時間を要する。また上小田地区の農地は1種農地で、除外は具体的計画に基づき行うべきである。

**議員** 今、具体的な計画はないのか。

**政策課長** 県が5年ごとに行う都市計画区域の見直しの中に、我が町も含まれていて、令和3年度に県から区域の指定がある。町は国土利用計画を見直し、全町的な土地利用について今後検討を行う。

# 自然災害に対する防災・減災対策



ふちかみまさあき  
瀧上正昭

議員

## 災害用備蓄品の備蓄率は

**町長** 最低の基準は満たすことができた

**議員** 今年度の当初予算に「災害用備蓄品購入費」として、657万円を充てているが、保存食、飲料水、寝具類、排せつ関係などの備蓄率は。

**総務課長** 保有する備蓄品の必要数量の目安は、登録人口の5%になっている。本町の人口は約9,700人で、480人分の備蓄が必要となる。また、本町で備蓄するのは1日分で、保存食は1日3食、飲料水は、1日3ℓで計算すると、一般向けの保存食の備蓄率は、160%。高齢者及び幼児用は100%。育児用ミルクは200%。飲料水は、155%。寝具類は282%。排

せつ物等の処理セットは、100%である。

**町長** 今回の購入で、最低の基準は満たすことができたが、万全な備えとは言えないので、県、他の市町、民間企業の助けも借りる必要がある。

昨年7月の大雨では、地区名で避難指示を出したが、実際の避難対象者は誰であったのか検証が必要と思う。

例えば、町民防災カードを作成し、ある

程度特定をするやり方。

安全・安心カードを全町民に配布し、避難の対象者と避難の時期をセットで考える必要があると思っている。

**議員** 賞味期限の管理とアレルギー対策は。

**総務課長** 保存食は、備蓄品台帳で管理し、賞味期限が切れる前に、地区で開催する自主防災訓練に非常食として提供している。

アレルギー対策は、現在、備蓄しているアルファ米も含め、全ての保存食をアレルギー対応食としたい。

## 備蓄倉庫について

**町長** 4カ所ある

**議員** 備蓄倉庫の設置場所と備蓄品の点検方法などの管理状況は。



防災備蓄品

**総務課長** 備蓄品を保管している場所は、町役場裏の郷土資料館2階、町役場の別館2階、上小田地区防災広場、消防団4部（江北交番東側）の4カ所である。

今後は、誰が見てもわかるように倉庫内を整理し、管理をしていきたい。

## 指定避難場所の運営関連について

**町長** 現実味のある避難者の配分計画を検討していく

**議員** 指定避難所の避難人数が多いようだが算定基準は。

**総務課長** 県や町の地域防災計画では、1人当たり最低2m以上が望ましいとなっているので、2mで収容人数を算出している。

**議員** 通路部分を全床面積の2割位みた上で、残りの面積を持参した荷物等を考慮し、

1人当たり3m位で算定したらどうか。

**町長** もう一度、町内に避難所となりうる施設がないかを把握した上で、現実味のある避難者の配分計画を検討していく。

**議員** 車中やテント内で避難生活を送る避難者への対策は。

**総務課長** 指定避難所に避難された方と同様の対応を考えている。

**議員** 防災会議の委員の総数とそこにおける女性委員の数は。

**町長** 条例定数は25名以内で、現在は23名。その内女性は、婦人会の代表と食生活改善推進協議会の代表の2名である。

今後、女性委員の積極的な登用という観点で、定数を含めて検証する。

総務常任委員会

一般会計補正予算

**問** 職員の駐車場の件で、不足等の問題があるのでは。

**総務課長** 区長会等の行事や、災害により庁舎が災害対策本部に設置される場合もあり、今年度中に方向性を決める。

**問** 庁舎西側の隣接している一車線の道路は、通行止めになっているが。

**総務課長** 通行止めにしてはいる経緯を調査し、役場に入る道路なので検討する。

**問** コミュニティ助成事業で、防災グッズの申請を受けた地区は。

**政策課長** 平山、花祭、東分、門前の4地区。

**問** 未来アシスト事業で、上小田五抗地

区の炭坑の歴史伝承事業とは。

**政策課長代理** 炭坑50周年の事業計画で、1年目は記念イベント、継続的に2年目、3年目は歴史を次世代に引き継ぐ様な事業を企画している。

**問** 補助額の内訳は。

**総務課長代理** 概算で五抗地区が百万円、花祭区が566千円、こども流鏑馬が400千円。

**問** 風しん対策を、今年度は昭和47年4月2日～54年4月1日生まれの男性を対象としているのは何故か。

**福祉課長** 風しん感染者が増えていて、患者の中心は30代～50代男性で対象世代の患者数の半数以上を占めている。

**問** いきいき百歳体操はどの様に周知されているのか。

**福祉係長** 2年前から

推進しており、年に1回介護予防講演会を実施。その他、広報の掲載や各種団体へ周知する。

**問** 民間保育所の運営業務委託料の5,995千円が江北幼児センターに移行したのか。

**こども教育課長代理** 民間保育所の運営費の負担金については保育園の規模や定数で定めてある。

**問** こどもセンター「つるる」に防球ネットを張る予定があったのか。また、安全面での対策は。

**こども教育課長代理** 放課後児童クラブの子どもたちがサッカーなどを行っている。遊ぶ時は、支援員が見守っている。

**問** 放課後児童クラブの全体数は。

**こども教育課長代理** 登録人数は180名。

6月現在で127名が通所している。

**問** 道徳教育の研究指定期間は何年か。また、講師謝金とあるのは。

**こども教育課長** 2年間の文部科学省の指定。講師招へいについては、学校の方で計画する。

**問** 国際化推進自治体協議会負担金についての見直しとは。

**こども教育課長代理** A・L・Tの基準財政需要額が増え、負担金の増。来年度も二万円の増。

杵藤地区広域市町村圏組合規約の変更について

**問** 広域圏組合事務所が旧北方庁舎に移転する費用等は。

**政策課長** 費用は6千万円で、9月の連休に電算の機械も全て引越す予定。

【全委員賛成】

国民健康保険事業 特別会計補正予算

**問** 医療費通知等作成委託料の補正とは。

**福祉課長** これまで医療費通知書の郵送を町で行っていたが今年度から国保連で行うようになったため、役務費から委託料への組み替え分。

【全委員賛成】

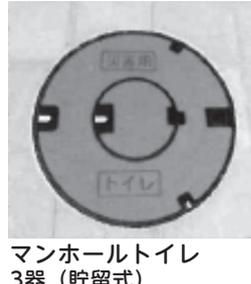
土地開発公社定款の変更について

【全委員賛成】

① 小学校グラウンドのバックネットの補修状況



② 「道の駅しろいし」は県で9番目の登録で、防災拠点としての機能を備えた施設



マンホールトイレ3器（貯留式）



貯水タンク SUS製パネル型2槽式 有効容積…210名収容×57ℓ×3日間



産業常任委員会

一般会計補正予算

**問** プレミアム商品券の購入方法は。

**産業課係長** 令和元年度の所得要件で低所得者及び子育て世帯が対象で、低所得該当者には役場より購入希望の応募用紙を送付し、購入の際は引替券を郵便局に持っていく。

**問** 施設や病院に入られている方は。

**産業課係長** 県より対象リスト等を取り寄せ対応する。

**問** それぞれの中山間チャレンジ事業の対象地区の選定は。

**産業課長** 各集落に対して事業の説明を行い、モデル地区として岳地区にお願いしている。

**問** 中山間以外の制度はあるのか。

**産業課長** 岳、白木は

棚田があるので、棚田ボランティア等で話をしている。

森林環境譲与基金条例

【全委員賛成】

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

【全委員賛成】

**問** し尿処理料18歳175円から203円となる。4人家族では負担がどれくらい増えるのか。

**環境課長** 改定前で月3,150円が、改定後では3,654円となる。

【全委員賛成】

水道事業の事業統合に伴う関係条例の廃止に関する条例

**問** 水道事業の統合で町の水道課が変わるのか。

**環境課長** 各市町に営業所が設置される。職員は企業団への派遣扱いで、住民サービスに特に変化はない。

【全委員賛成】

佐賀西部広域水道企業団を組織する地方公共団体の数の増減、共同処理をする事務の変更等及び同企業団規約の変更

【全委員賛成】

下水道事業特別会計補正予算

**問** 江北クリーンセンターで、引き抜いた汚泥700m<sup>3</sup>は、どうするのか。

**環境課長** 汚泥は、脱し、産廃処分する。

**問** 専門業者はどこか。

**環境課長** 三協環境開発にお願する。

**問** 江北フリンセンターの臭気対策は。

**環境課長代理** ストックマネジメント事業で早ければ2年後に改修を行う。

**環境課係長** 今後、玄海町で実践されている汚泥管理を参考に日常の管理を見直していく。

**問** 当初予算でなく、6月補正になったのか。

**環境課長代理** 春先に水質が戻る傾向があり、期待していたが回復しなかった。

**問** 汚泥の引き抜きは、何年置きか。

**環境課長** 今回が初めて。経年汚泥が堆積し、槽内で固まっているため、その部分を崩して抜くことを考えている。

【全委員賛成】

委員会町内視察

① 大西堤防



② 畑川溜池



③ 渥水施設  
宮原第2送水のポンプ



# 交通安全への取り組み



～小学校前の横断歩道～  
朝夕で車の往来が激しく危険なために新たに黄色のカラー帯が加えられた

## 令和元年度、フレッシュで元気ある広報委員が決まりました



議会広報委員				
委員	副委員長	委員長	委員	委員
石津 圭太	池田 和幸	三苫 紀美子	江頭 義彦	金丸 祐樹

左より

### 編集後記

上記の5名が広報委員の新メンバーです。よろしくお願いたします。

議会だよりについては、町民の皆様方により見やすく、分かりやすい広報紙になるよう取り組んでまいります。

また、町議会についてもご理解をいただくために、多くの町民の皆様方の傍聴をお願いいたします。

傍聴しやすい日時としては、他町で取り組まれている休日議会や夜間議会等を参考に、本町でも検討しています。